

◇合格体験記

2012.12.26

□氏名 久富 克純(52歳)

□プロフィール

1983年大学卒、メーカーに入社し営業及び営業企画に従事、直近は需要予測等生産管理にも関与。

【自身のSWOT】

S	粘り強い(あきらめが悪い)
W	頑固(柔軟性がない、思い込みが強い)
O	2年前から単身赴任(時間だけはある)
T	お金がない(子供の教育費優先)

【診断士資格試験に対する戦略】(SWOT分析よりSをOに投入,W改善T回避)

あきらめの悪い強みを生かして潤沢な自由時間に投入、弱小に入会することでお金がない脅威を回避しグループ討議で柔軟性を身につける。

□受験履歴

	1次試験	2次試験		受験校	
	可否	可否	成績	1次	2次
2005	○	×	公表なし	マンパワー	マンパワー
2006	受験せず	×	ABBA		マンパワー
2007	×			マンパワー	
2008	○	×	BBCC		マンパワー
2009	受験せず	×	BAAC		マンパワー
2010	×				
2011	○	×	BBAB		マンパワー
2012	受験せず	○			マンパワー

受験校の模試では上位10%以内だが本試験ではスベリ続ける。

【失敗の要因】

受験校での経験が長いのでつぼにはまれば高得点が取れるが、基本一人での勉強で模範解答に執着し多面的な考え方ができていなかった。結果毎年少しずつ変わる試験の傾向に対応できなかった。

□診断士試験に対するスタンス

☆診断士の知識を実務に生かす(診断士の視点で仕事を見る)

具体的には、

- ①上司に対する助言
- ②研修の企画(企業経営理論、財務会計)
- ③研修の講師を行う

【メリット】

人に教えることで随分勉強になりました。診断士の資格を持たない人間が教えることに葛藤はありましたが重要なのは教える人ではなく内容だと割り切りました。(素人講師の研修に協力いただいた方に感謝します。)

□弱小で得たもの

- ・自身の弱み(柔軟性のなさ、多面的に考えることが苦手)に気づけた。
- ・何となくは理解していたが、自身の悪いクセを正面から指摘してもらえることで改善を心に誓えた。
- ・同じ目的と似たような悩みを持つ仲間がいることが心の支えになった。
- ・受験校とは違った角度からの解答の解釈が学べた。(解答の多様性は勉強会ならではの醍醐味では)
- ・自分で考えることの重要性が身にしみてわかった。(模範解答に依存しない)

□診断士試験への取り組み

1. 方針

①戦略策定プロセスを意識する。

理念・ビジョン→SWOT分析→ドメイン→成長戦略(競争戦略)→機能別戦略

②紙上でのコンサルを意識する

設問に答えることで企業の課題を解決する。

2. 戦術

①設問に対して素直に答える。

思い込みで答えることは厳禁、聞かれていないことは答えない。

②MECEとピラミッドストラクチャーを意識する。

設問の切り口を常に考え、結論とそれを支える根拠を与件から用意する。

③設問に対する解答の一貫性を重視する。

設問の関連性を意識して、戦略策定プロセスのどの段階に対する解答が求められているのか戦略の基本となる強みや機会がしっかりと解答に利用できているのかを確認する。

3. 作業

	内容	留意点	時間
①	設問の把握	要求項目に注意(問題、課題、留意点、アドバイス等)	2分
②	与件を読む	1回目:素読み、引っかかる語句にアンダーライン(理念、ビジョン、課題)	25分
		2回目:SWOTを行う(マーカーは使用せずキーワードを抜き出す)	
		3回目:問題との対応(どの設問に使うか)を意識しながらキーワードを確認)	
③	方向性の確認	強みと機会から方向性を出す。同時に弱みをどの設問で改善するかを決める。	8分
④	解答の作成	解答の順番を決める(環境分析→方向性→弱み改善が多い)	40分
		主語・述語を意識する。	
		1文を50字程度にして長い文章にしない。	
		結論と根拠を与件のキーワードを使ってできるだけ具体的に書く。 解答の一貫性と設問間の関連性を確認する	
⑤	解答の確認	誤字、脱字の確認、キーワードの書き違いがないかどうかを確認する。	5分

【事例Ⅳについて】

- 事例Ⅳについても解答の大枠は変わらないが、指摘すべき財務指標の選択は、あたりをつけておいて最後に回す。(後の問題にヒントが隠されている場合が多いので)
- 最近の事例Ⅳは計算力が多く問われているが、該当企業の方向性をしっかり出すことが重要だと考える。計算能力は重要だがあくまで課題解決を行う上での根拠材料と位置づけるべきだと思うので。(今年の試験も計算のプロセスを見ており計算後の答のみを見ているわけではないので、大枠で合っていれば部分点が取れていると思われる。最後の200字の問題で方向性を見据えた解答ができたかどうか勝負を分けた気がする。)
- 財務諸表の関係性を完璧に理解しておく。P/LとB/Sの関係性はもちろんキャッシュフロー計算書との関係も押さえておきたい。分析に必要なだけでなく想定P/LやB/Sを作成する力が求められている。(合格後の実務にも必要だと思うので。)

□役に立った書籍

『スモールビジネスマーケティング』 岩崎 邦彦著

『中小企業診断士2次試験-世界一やさしい答案作成術』 斎尾 裕史著

『事例攻略のセオリー』 村井 信行著

『企業診断』

□こだわり

【文具】

シャープペンシル⇒クルトガ(書き味抜群)

消しゴム⇒ミリ消し(消したい幅を一発で消せる)

【飲食物】

ドリンク剤(診断士試験はドーピングOK)

糖分補給(チョコレート)

【体への刺激】

青竹踏み(試験会場に持ち込みました)

ストレッチ体操(気分転換)

□裏技

【未来日記】

今年の2次試験に受かった後の感謝の気持ちを紙に書いて部屋のよく見えるところに貼って毎日眺めていました。(役に立ったかどうかはわかりませんが、モチベーションは高まったと思います。)

□最後に

合格まで8年を費やしました。家族にはどれだけ迷惑をかけたかはかりしれません。その意味ではほんとうに家族に感謝しています。ここまで合格に時間を要した原因を考えて見ますといろいろあるのですが、一番は素直さが足らなかったことだと思います。自分の正しさに執着して事例を素直に見ることができていなかったのだと思います。短期間で合格を目指す方には、素直に回りの人のアドバイスを受け入れる気持ちを持って頂きたいと思います。その意味においては、弱小は素晴らしい場所を提供してくれます。これから診断士試験に臨まれる方が余計な回り道をされなくてすむことを切に願っています。